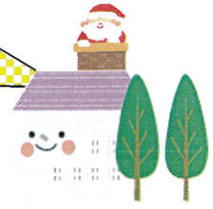


# れんけあニュース

連care news



～みんなで協力して患者さんや家族の生活を支えるまちづくりを目指して～

始良地区医師会 在宅医療推進地域支援事業ニュースレター

2014年11月26日発行 vol.11 p.1

## 1. 霧島市健康生きがいづくり推進モデル事業における健康講話

平成26年10月26日（日）午前10時より霧島市溝辺町十三塚地区の笹峯公民館において、標記事業における健康講話を実施致しました。講話の前に健康体操も実施され、和やかな雰囲気のもと、始良地区医師会田代副会長より在宅医療について、広報・啓発活動で作成中のスライドをもとに多職種がチームで在宅医療に取り組んでいることを住民の方々へ分かり易くお話し頂きました。



## 2. 在宅医療・介護・福祉連携推進研修会を開催しました

平成26年11月17日（月）午後7時より医師会館ホールにおいて、大口出身でスウェーデン在住の向江康之氏に、「スウェーデンの医療、介護の現状と希望」と題し、福祉先進国のスウェーデンの医療・介護の現状や今後の方向性についてご講演頂きました。消費税率25%、学費や医療費は無料で移民を快く受け入れ、日本とは文化・宗教・社会制度は異なるスウェーデンのお話しをユーモアを交えてお話し頂き、出席者の方々からたくさん質問がなされ、有意義な講演会となりました。



## 3. 第21回霧島市民健康講座を霧島市と共催で開催しました



平成26年11月22日（土）国分シビックセンターにおいて、午前11時40分より名古屋学芸大学学長の井形昭弘先生より「夢の長寿社会～在宅医療の立場から～」と題しご講演頂きました。

「65才でも元気な方は、若い方よりむしろ体力や気力があり、老人とは言えない。元気な方々には一人でも多く高齢者を支える側へ回り、高齢者の位置づけを75才以上とする時代である。」というお話しや「運動することが一番の不老長寿法であり素因と現代の生活習慣とのギャップが生活習慣病の原因である」と話されました。先生は御年86歳ですが、とてもお元気で、講演終了後も市民の方たちから握手を求められ、「先生の元気を分けて頂き、今日はお話しを聞いて良かった。」との感想を頂きました。

### ～ 講演会等のお知らせ ～



#### ○在宅医療スキルアップ【栄養】研修会

平成26年12月11日（木）18:30～

始良地区医師会館 ホール

「対象者に合わせた食事の作り方、選び方」

鹿児島県栄養士会 管理栄養士 隈元羊子 氏

#### ○市民公開講座（1部 10:00～ 2部 13:30～）

平成26年12月27日（土）

国分シビックセンター多目的ホール

「私が私らしく生きていくために」

北海道医療大学大学院看護福祉学研究科客員教授石垣靖子先生

平成26年11月24日(月・祝)始良公民館において、午後1時20分より標記市民講座を開催致しました。「自宅で大往生～『ええ人生やった』と言われるために～」と題しておおい町国保名田庄診療所所長の中村伸一先生より在宅の事例を交えた基調講演の後、佐藤会長を座長としてシンポジウムを開催し、吉満内科クリニック院長吉満彰先生、生協訪問看護ステーションこくぶ管理者川畑たか子さん、医師会居宅介護支援事業所上蘭妙子室長、始良市地域包括支援係長前園智雄さん、患者家族の立場から池田加代美さんがシンポジストとして「住み慣れた地域で安心して暮らせるために～みんなで考える在宅医療～」をテーマにディスカッションされました。



中村先生の基調講演では在宅での事例をテンポよく、時に涙をそそるようにお話しされ、会場の皆さんうなずいたり、笑いがおこったり、話の内容に引き込まれていらっしやいました。

シンポジウムでは、それぞれの職種の在宅医療への取り組みや、池田さんの義父さまの在宅看護のお話やDVDに、“おお～、すごい”と寝たきりの状態から畑を耕すまで回復された事例に大変驚いた様子でした。

連休最終日でしたが、233名の方々に参加頂き、大変実りある市民講座となりました。

## 5. 活動報告(10月)

### ● 推進チーム作業部会



#### テーマ「望ましい療養生活の姿」

○第6回作業部会 期日：平成26年10月1日(水) 19:00～

場所：始良地区医師会館 会議室



★ 資源リストの試行の最終確認を致しました。修正箇所は情報提供元で変更し、現在、連携書式の試行をお願いしている7医療機関・12事業所で同様に試用して頂く。医療機関の連携相談窓口については「連携なし」と回答頂いた医療機関へ掲載してよいか確認し、了解を得てから追加する。基本的に始良地区内の資源の掲載となっているが、訪問看護ステーションの項目には伊佐市の情報も掲載されている。湧水町にはステーションがなく、伊佐市がカバーしているのでリストに掲載する。

次回は試行機関へアンケートで使用感想をお伺いし、内容についての検討をする。

### ● 事業運営委員会



#### ○第9回事業運営委員会

期日：平成26年10月7日(火) 19:00～

場所：始良地区医師会館 会議室



★ ①平成26年度上半期活動報告のスライドの内容について検討しました。一部修正し、県医師会へ提出。  
②「住民向け広報・啓発用パンフレット」について、進捗状況について報告。  
③「資源リスト」の進捗状況について報告。訪問歯科診療のページに対象者として「原則として、寝たきり・準寝たきりの方で、通院困難な方」を追加する。

また、今後の計画として、推進チーム【認知症】作業部会のメンバーについて検討しました。認知症疾患医療センターや2市1町、地域振興局代表者に加え、三役・担当理事で構成する。

教育・研修(スキルアップ)研修会の開催について、現在[看取り]について講師依頼済み。今後は[移乗]・[栄養]についての研修会について検討会で協議する。三師会とケアマネ、三師会と地域医療連携室・退院支援室との研修会や診療報酬・連携ツールについての説明会等についても検討する。

### ● 在宅医療推進事業広報啓発活動

#### ○始良市在宅福祉アドバイザー及び民生委員児童委員合同研修会における講話

期日：平成26年10月24日(金) 11:30～

場所：始良市 始良公民館



★ 医師会訪問看護ステーション上蘭室長が、在宅福祉アドバイザーや民生委員の方々に對して、事業説明と在宅医療の重要性、地域の支えや見守りの必要性などを在宅医療の事例を交えて話されました。

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、医療・介護・福祉の提供に関連する多くの機関が手を取り合って地域住民主体の暮らしを支えていけるようご協力をお願い致します。

【在宅医療推進連絡協議会事務局】

公益社団法人始良地区医師会事務局内

〒899-5106 鹿児島県霧島市隼人町内山田1-6-62

TEL: 0995-42-7161 FAX: 0995-43-2044

# れんけあニュース

連care news



～みんなで協力して患者さんや家族の生活を支えるまちづくりを目指して～

始良地区医師会 在宅医療推進地域支援事業ニュースレター

2014年12月29日発行 vol.12 p.1

## 1. 看取りに関するスキルアップ研修会



平成26年11月28日(金)午後7時より医師会館ホールにおいて、研修会を開催致しました。

当日は、在宅での看取りの様子を患者さんや家族、主治医、訪問看護師、ヘルパー役を会話形式で再現致しました。その後、生協訪問看護ステーションこくぶ管理者の川畑たか子看護

師より「在宅看取りを希望する利用者・ご家族への支援」と題し事例を交えて、主治医に望むことや実際家族を看取られたご遺族からの手紙で励まされたことなどについてお話し頂きました。101名ご出席頂き、看取りへの取り組みに対する関心の高さを感じました。



## 2. 在宅栄養に関するスキルアップ研修会

平成26年12月11日(木)午後6時30分より医師会館ホールにおいて、「栄養士が在宅支援できること」と題し、医療法人大成会 大庭医院 在宅訪問管理栄養士 吉永悦子氏より、また「対象者に合わせた食事の作り方、選び方」と題して鹿児島県栄養士会 管理栄養士 隈元羊子氏より講演頂きました。摂食・嚥下障害のある方、食塩制限のある方、カリウム制限のある方へ対しての調理方法の工夫など、食べることは生きる喜び・楽しみであり、そのために出来る支援は何かについてお話し頂きました。



## 小児ケアに関するスキルアップ研修会



平成26年12月13日(土)午後1時30分より医師会館会議室において「小児の病状観察と対応～在宅での本人や母親へのかかわり方について～」と題して、医療法人天翔会看護部長鹿児島こども訪問看護ステーション管理者渡邊理恵氏に訪問看護師とヘルパーの方を対象にお話し頂きました。病気や障がいを持つ子どもたちの看護につ

いてや、母親への療育・精神的支援について事例に沿ってお話し頂きました。

### ～ 研修会等のお知らせ ～



#### ○始良郡三師会と介護支援専門員との研修会・交流会

日時：平成27年1月24日(土)午後2時～午後4時40分

場所：始良地区医師会館 ホール

内容：各団体からの発表・グループワーク、終了後交流会

申込：始良地区医師会在宅医療推進連絡協議会まで (TEL:42-7161 FAX:43-2044)



#### ○始良郡三師会と地域医療連携室・退院支援担当者との意見交換会(2月中旬頃 開催予定)

## 4. 認知症ライフサポート研修

平成26年12月13日(土)午後2時より始良地区医師会館ホールにて開催。当日は日本社会福祉事業大学大学院特任教授の宮島渡先生をお招きし、多職種で8つのグループを作り研修プログラムに沿ってビデオを視聴しながらグループワークを行いました。認知症ケアの多職種協働や専門の領域での機能を発揮し、各地域におけるチームケアの推進に役立ててほしいとお話しされました。



## 5. 県看護連盟始良・伊佐地区合同フレンドシップ研修会



平成26年12月20日(土)午後3時より加音ホールにおいて、開催され「入院から在宅療養にスムーズに移行するために」と題し医療法人恵迪舎吉満内科クリニック院長吉満彰先生よりご講演頂きました。入院から在宅復帰の際に変えてはならないものとして「生活環境」「生活リズム」「人間関係」の3つをあげ、事例を交えて看護師と医師との連携について「退院を望まないご本人や家族のモチベーションをどのように

上げていくかも看護師の大事な役割であり、自分たち医師が在宅医療ができるのは看護師の協力と支えが大きい。」と話されました。参加者からは「今まで病院勤務で在宅医療には関心がなかったが、入院の時点から在宅を視点にいれ、患者さんの望む環境に戻すために自分たちにできることは何か。」について考える機会となったなどのご意見を頂きました。

## 6. 霧島市民公開講座「地域でその人らしく生きていくことを支える」

平成26年12月27日(土)国分シビックセンターにおいて、北海道医療大学大学院看護福祉学研究科客員教授石垣靖子先生をお招きし午前10時より一般住民向けに「あたりまえであることの幸せ」と題して、午後1時30分より医療従事者向けに「生活(暮らし)の営みを整えるケアの価値」と題しご講演頂きました。人はその人だけの誰もかわることのできない人生を送っており、今という時間は人生で一度きりのかけがいのないものであり、それは患者さんにとってもケアに携わる人にとっても同じである。看取りの質とはその人に寄り添いその人の望む環境を整えることが大切であるとお話しされました。



## 7. 活動報告(11月)

### ● 事業運営委員会

#### ○第10回事業運営委員会「教育・研修(スキルアップ)検討会」

期日：平成26年11月4日(火) 19:30～ 場所：始良地区医師会館 会議室

★今年度下半期は、在宅医療に携わる多職種との研修会・交流会や実地を交えたスキルアップ研修会の開催計画をする。

### ● 推進チーム作業部会

#### テーマ「入退院時のスムーズな連携」

○第2回作業部会 期日：平成26年11月6日(火) 19:00～ 場所：始良地区医師会館 会議室

★全医療機関と居宅介護支援事業所でのシート活用の普及に向け、手順書とマニュアルを作成する。試行機関の連携先にもアンケートを依頼し利用状況やシートの内容について調査する。

#### テーマ「24時間連携のための看取りや急変時の体制」

○第2回作業部会 期日：平成26年11月11日(火) 19:00～ 場所：始良地区医師会館 会議室

★医師の在宅医療への参加は事例報告会や勉強会を開催し、地道に啓発していく。現在在宅に取り組んでいる医師が疲弊しないよう配慮し、後方支援病院を確保するなど在宅復帰希望患者を引き受けやすい環境づくりをする。

### ● 在宅医療推進事業広報啓発活動

#### ○「在宅医療と地域包括ケアシステム構築のため課題解決に向けての研修会」における講話

期日：平成26年12月9日(火) 15:00～ 場所：霧島市「国分福祉センター」

★医師会訪問看護ステーション上園室長が、国分地区の民生委員の方々に事業説明と在宅医療の推進には、地域の支えや見守りが重要であることを事例を交えてお話ししました。



住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、医療・介護・福祉の提供に関連する多くの機関が手を取り合って地域住民主体の暮らしを支えていけるようご協力をお願い致します。

【在宅医療推進連絡協議会事務局】

公益社団法人始良地区医師会事務局内

〒899-5106 鹿児島県霧島市隼人町内山田1-6-62

TEL: 0995-42-7161 FAX: 0995-43-2044



～みんなで協力して患者さんや家族の生活を支えるまちづくりを目指して～

始良地区医師会 在宅医療推進地域支援事業ニュースレター

2015年1月31日発行 vol.13 p.1

## 1. 始良郡三師会と介護支援専門員との研修会・交流会

平成27年1月24日(土)午後2時より医師会館ホールにおいて、研修会・交流会を開催しました。各団体代表者からの現状報告として、歯科医師会理事の尾畑先生より「お口いきいき診療連携システム」、薬剤師会副会長の岸本先生より「経管から経口までの適切な投薬簡易懸濁法の応用」、居宅介護支援事業所のき牛牧所長より「認知症になっても、安心して医療が受けられるように…～認知症高齢者を介護する方々の『生の声』～」、医師会副会長の岩谷先生より「始良地区の在宅医療の現況」と題しお話し頂いたあと、10グループでグループワークを行いました。

各テーブルでの活発な意見交換の中で、「ケアマネよりサービスの照会が来るが、その後のケアプランも欲しい」「担当者会議の開催時間や場所に工夫してほしい」「ケアプランに薬剤師・歯科医師の訪問指導を入れてほしい」「照会内容を主治医へ依頼しても戻ってこないことがあって困る」「かかりつけ歯科医師を確認して欲しい」などの要望・困りごとや「普段接する機会の少ない先生方と話をする機会ができた」「医療・介護・各専門家が様々な気づきをしているが『つなぐ』ことができていないので、今後連携し『つなぐ』ことが重要」など様々なご意見を頂きました。

今後も顔が見えて気軽に話ができる関係を築けるよう各職種との研修会等の開催を計画していきたいと考えておりますので是非ご参加下さい。



### ～ 研修会等のお知らせ ～

#### ○始良郡三師会と地域医療連携室・退院支援担当者との意見交換会

日時：平成27年2月25日(水)午後7時～

場所：始良地区医師会館 ホール

内容：在宅医療推進事業概況・入退院時連携シート説明

#### ○在宅医療・介護・福祉研修会、交流会

日時：平成27年3月28日(土)午後2時～

場所：始良地区医師会館 ホール

(申し込み人数により変更の可能性あり)

※ 詳細につきましては、決まり次第後日ご案内致します。



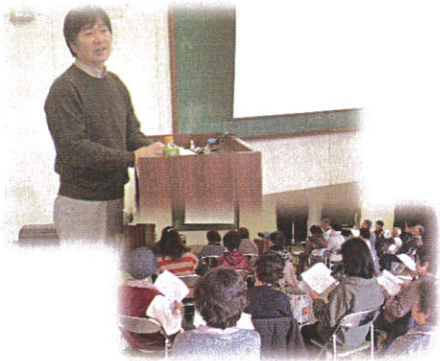
### 横川町尾田地区での講話

平成27年1月17日（土）午後2時より横川公民館において健康講話を実施致しました。みんなで楽しくウォーキングをした後、猪俣医院院長猪俣賢一郎先生より在宅医療についてご講話頂きました。

在宅での介護には家族の協力が不可欠であること、消防・警察・新聞配達の方たち等による地域での見守りやチームワークの必要性、そして、かかりつけ医を持つことの重要性などについてお話し頂きました。



### 溝辺町大川内岡地区での講話



平成27年1月25日（日）午前9時30分より麓共同利用施設において佐藤昭人医師会長（佐藤医院院長）より在宅医療についての健康講話を実施致しました。健康体操で体をほぐした後、在宅医療推進事業で作成しているパンフレットに沿ったパワーポイントでの事業説明と事例発表の後、生活習慣病に関する講話を行い、終了後は参加者から在宅介護に対する費用面の不安についてや、「血圧を測るのは右手と左手どちらがいいのか？」「夜にお茶を飲むと眠れなくなるが、どうしたらいいのか？」など生活習慣病に関する質問があり、ひとつひとつ丁寧に分かり易くお答え頂きました。

## 3. 始良市蒲生地区「かたってみろかい してみろかい」徘徊模擬訓練

平成26年12月7日（日）午前10時より始良市蒲生高齢者福祉センターにおいて標記徘徊模擬訓練が開催され、参加させて頂きました。

当日はお天気もよく、福祉センターにはたくさんの参加者が来られ、積極的に訓練や意見交換されていました。

「かもふぁみ」という蒲生地区支え合い体制づくり実行委員会の皆さま方から認知症の方への対応の心得や話をするときの7つのポイントなどのお話があり、皆さん熱心に聞き入っていました。



## 4. 活動報告（12月）



### ● 推進チーム作業部会

#### テーマ「入退院時のスムーズな連携」

○第7回作業部会 期日：平成26年12月22日（月）19:00～  
場所：始良地区医師会館 会議室

★ シートの活用マニュアルはほぼ完成し、連携シートの名称を「入院時情報連携シート（入院時連携シート）」と「介護支援連携指導シート（退院時連携シート）」に変更しました。今後4月からの本運用に向けて三師会と介護支援専門員との研修会（1/24）や三師会と地域連携室・退院支援担当者との意見交換会（2/25）、在宅医療・介護・福祉研修会（3/28）等においてシートの作成経緯や記載方法を紹介し、更に必要があれば勉強会を開催する予定。



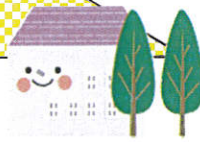
住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、医療・介護・福祉の提供に関連する多くの機関が手を取り合って地域住民主体の暮らしを支えていけるようご協力をお願い致します。

【在宅医療推進連絡協議会事務局】

公益社団法人始良地区医師会事務局内

〒899-5106 鹿児島県霧島市隼人町内山田1-6-62

TEL：0995-42-7161 FAX：0995-43-2044



～みんなで協力して患者さんや家族の生活を支えるまちづくりを目指して～

始良地区医師会 在宅医療推進地域支援事業ニュースレター

2015年2月27日発行 vol.14 p.1



## 1. 始良郡三師会と地域医療連携室・退院支援担当者との意見交換会

平成27年2月25日(水)午後7時より医師会館ホールにおいて、意見交換会を開催しました。各団体代表者からの現状報告として、歯科医師会公衆衛生理事の尾畑先生より「お口いきいき診療連携システム」、薬剤師会在宅担当委員の小松先生より「薬剤師による在宅訪問」、医師会副会長の田代先生より「始良地区医師会の在宅医療への取り組み」と題し10分ずつお話し頂いたあと、在宅医療推進チーム連絡会委員で南九州病院地域医療連携室長の前田氏より入退院時連携シートについての説明をして頂きました。その後、実際にシートを試行した感想を希望ヶ丘病院地域医療福祉連携室長の井手口氏と佐藤医院看護師長の木場氏よりお話し頂きました。

その後の意見交換の中で、「とても良い内容の連携ツールなので入退院時にとどまらず無床診療所でもケアマネさんとの連携に使いたい」「入院したときから退院を見据え患者さんを支援することが重要」「退院時のみでなく入院時も連携シートがあるのが特徴で、患者様の生活が分断されることを最小限とすることに繋がる」「入院した際には患者さんの口の中を取り敢えず見て欲しい」など様々なご意見を頂きました。

今年度は「顔の見える連携」を目的に、三師会と各職種(訪問看護師、介護支援専門員、地域医療連携室・退院支援担当者)との開催致しました。3月28日(土)には三師会と多職種との研修会・交流会である「在宅医療・介護・福祉推進研修会・交流会」を開催致しますので、多数ご参加下さい。

医療機関のついでに、どくらいあつし、皆さん、月に退院がどれくらいあつし、どくらい退院支援を行っていますか？そして、介護支援連携指導票を算定してありますか？※この点数は、連携の指標です。

どややって点数を取っていかればいいのか分からないという方もいるのでは？

どやいった票を使えば？という方も



## ～ 研修会等のお知らせ ～

### ○始良地区医療協議会第2回研修会

日時：平成27年3月11日(水)午後7時～

場所：始良市「加音ホール」

講演：「花びらは散っても 花のいのちは散らない

～生の拠るところ死の帰るところを求めて～」

浄土真宗本願寺派深機山妙行寺 副住職 井上從昭氏

### ○「見える事例検討会」体験講座

日時：平成27年3月11日(水)午後6時半～

場所：霧島市「国分シビックセンター多目的ホール」

内容：見える事例検討会体験講座(先着100名)

伊東市民病院臨床研修センター長 八森 淳先生

見える事例検討会事務局大友路子社会福祉士

### ○在宅医療・介護・福祉研修会、交流会

日時：平成27年3月28日(土)午後3時30分～

(例年と開始時刻が違いますのでご留意下さい)

場所：始良地区医師会館 ホール

(申し込み人数により変更の可能性あり)

内容：認知症についての講演・グループワーク





## 2. 霧島市健康福祉まつり

平成27年2月15日(日)午前9時半より霧島市民会館・国分シビックセンターにおいて開催された霧島市健康福祉まつりにブースの出展を致しました。本会で作成した在宅医療のパンフレットや県医師会が作成したマイライフ・ノートを使って在宅医療の説明をし、アンケートにお答え頂きました。また、希望者には佐藤会長と竹田先生より健康相談を実施して頂きました。霧島市市制施行10周年記念ということもあり、例年より来場者も多いようで、とても盛況でした。



## 3. 県医師会在宅医療提供体制推進事業 第2回活動報告会



平成27年2月24日(火)午後6時半より県医師会館において活動報告会があり、今回は特に「連携」をメインに発表致しました。当地域では三師会と行政等との連携が既にできており、それらに加えて多職能団体やサービス事業所・住民の方々との連携・協力を強化し、資源を繋ぎあわせることで「住み慣れた場所で自分らしく過ごしたい」という思いに寄り添い、事業の推進に取り組んでいることを発表しました。

国立長寿医療研究センター在宅連携医療部長の三浦久幸先生より「始良地区で作成された入退院時の連携シートは全国的にも通用する素晴らしいものだと思います。」との講評を頂きました。また、他の4実践医師会もそれぞれ地域の特性を生かした活動報告をされ、今後も他の地区の活動内容もお伺いしながら連携し、事業の推進をしていきたいと思ひます。

## 4. 活動報告(1月) 🎁🎁🎁🎁🎁🎁🎁🎁🎁🎁🎁🎁🎁🎁

### ● 事業運営委員会

#### ○第11回事業運営委員会「広報・啓発活動検討会」

期日：平成27年1月29日(木) 19:00～

場所：始良地区医師会館 会議室

- ★ 住民向けパンフレットの最終確認と、啓発活動用パワーポイントの検討を致しました。次回の事業運営委員会で承認を受け、4月からの広報・啓発活動で配布できるよう印刷開始する予定。

### ● 推進チーム作業部会

#### テーマ「24時間連携のための看取りや急変時の体制」

○第3回作業部会 期日：平成27年1月22日(木) 19:00～

場所：始良地区医師会館 会議室

- ★ 在宅医師の訪問範囲は遠い患者宅へも依頼があれば訪問するなど、ケースバイケースでマップ化は困難。休日など不在にする場合には知り合いの医師に依頼するのが現状で、今後はチームを作ってフォローするシステム・窓口づくりが必要。

#### テーマ「入退院時のスムーズな連携」

○第8回作業部会 期日：平成27年1月30日(金) 19:00～

場所：始良地区医師会館 会議室

- ★ 活用マニュアルの最終確認で細かい文言の統一や訂正をし、記入者が使いやすいものを選択し、使って頂けるよう入退院それぞれのシートでword版・excel版・チェック版を作成致しました。



住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、医療・介護・福祉の提供に関連する多くの機関が手をとり合っで地域住民主体の暮らしを支えていけるようご協力をお願い致します。

#### 【在宅医療推進連絡協議会事務局】

公益社団法人始良地区医師会事務局内

〒899-5106 鹿児島県霧島市隼人町内山田1-6-62

TEL：0995-42-7161 FAX：0995-43-2044





～みんなで協力して患者さんや家族の生活を支えるまちづくりを目指して～

始良地区医師会 在宅医療推進地域支援事業ニュースレター

2015年3月31日発行 vol.15 p.1

## 1. 平成26年度在宅医療・介護・福祉研修会、交流会を開催致しました

3月28日（土）午後3時30分より医師会館において三師会主催で開催し、始良・伊佐振興局技術補佐兼健康増進係長の堀之内広子氏より「今後の認知症の取り組みの方向性について」と題し本県の認知症高齢者等を巡る現状や新オレンジプランの概要、そして今後の認知症対策では人材の確保とスキルの向上が重要なポイントになるとお話し頂きました。



その後、鹿児島国際大学大学院 福祉社会学研究科教授で松下病院内・認知症疾患医療センター非常勤勤務医の野田隆峰先生より「地域における認知症支援の連携体制について～松下病院内・認知症疾患医療センターの活動の現状と課題から～」と題し「認知症という病気を家族・介護者が理解し、患者の人格を尊重する」、「時には“ホントでウソ(うそも方便)”をうまく活用し、ご家族・患者さんを医療・介護に向かせる」、そのためには、かかりつけ医・認知症サポート医・専門病院・地域包括支援センター・認知症疾患医療センター・地域の民生委員・家族会が協働し、支援の体制づくり

りを構築することが重要とのお話を頂きました。

講演終了後、「認知症支援連携体制における課題」をテーマにグループワークをし、「金銭的な問題」「薬剤師が認知症に気付くこともある」「事業で作成した入退院時連携シートに認知症の方の場合は生活シートとして[私のアルバム]」を添付するのもいいのでは」「地域の民生委員さんが協力して下さり助かった」「独居で隣家が遠い場合の気づきや受診が困難」「かかりつけ医の敷居が高く連絡が取りづらい」「BPSD(認知症周辺症状)への対応の理解が不十分」などのご意見があり、その一つ一つに野田先生より丁寧にアドバイス等講評を頂き大変内容の濃いものとなりました。

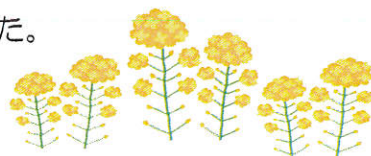


また、グループワーク後には在宅医療推進チーム委員で南九州病院地域医療連携室の前田 宏 氏より「入退院時の連携シート」について、シートを利用することが最終目標ではなく、シートを活用することで連携がスムーズになり、患者さん(利用者)の想いを多職種間で共有し、実現することが目的であると説明がありました。

歯科医師会からも「お口いきいき診療連携システム」の説明があり、現場で働く方々からの紹介や情報提供など連携の重要性についてお話し頂きました。

当日は108名の方々にご参加頂き、最後は交流会において名刺交換等で顔の見える関係づくりをし、盛会裏に終了致しました。

参加頂いた皆さま方、長時間ありがとうございました。



## 2. あいら福祉まつり

vol.15 p2

3月1日(日)午前10時より始良公民館において開催され、地域包括支援センターと介護・医療サービスに関する相談ブースを出展致しました。

当日は、南風病院緩和ケア内科部長 毛利通宏先生の「一人はみんなのためにみんなは一人のために一北山で考えたこと」と題した講演会のほか、福祉に関する展示や体験コーナー、認知症トレーニングがあり、本事業のブースでも在宅医療についてご説明しマイライフノートに興味を持って頂き大変盛況でした。



## 3. 始良地区医療協議会第2回研修会

3月11日(水)午後7時より加音ホールにおいて浄土真宗本願寺派深機山妙行寺 副住職 井上從昭氏より「花びらは散っても 花のいのちは散らない～生の抛るところ死の帰るところを求めて～」との内容で、高度成長で核家族化が進み、「死」とかい離れた日常生活の中で、「死を正面から見る」ことの難しさや、人はだれもが常にその人しか生きられない人生の主人公であるという視点で関わらなければならないということをご講演頂きました。



## 4. どけいったろ<sup>かい</sup>廻? inハッピーやすらんど

3月14日(日)午前9時より横川町の安良小学校において開催され、ブースを出展致しました。たけちゃん一座と警察官や消防士・市役所の方々による認知症高齢者の行方不明者を探す寸劇や、探知機を使ったデモンストレーションがあり、在宅で認知症の方を介護される場合はオープンにし、地域で見守り、行方不明になったら早く通報することが重要とのことでした。



## 5. 活動報告(2月)



### ● 事業運営委員会

#### ○第12回事業運営委員会

期日：平成27年2月16日(月) 19:00～

場所：始良地区医師会館 会議室

#### ★ 26年度事業経過報告と27年度の予定について協

議し、これまで活動してきた3つの推進チーム作業部会については、形が出来上がったので、本年度で一度解散・再編し、来年度は認知症への取り組みと事業のまとめをすることになりました。

### ● 推進チーム作業部会

テーマ「入退院時のスムーズな連携」 ○第9回作業部会 期日：平成27年2月12日(木) 19:00～

場所：始良地区医師会館 会議室



★活用マニュアル・パンフレット・フローチャートの最終確認をし、シートは入院時情報連携シートを様式1-1(両面)と様式1-2(片面・チェック式)とし、介護支援連携指導シートを様式2(退院時連携シート)と担当の介護支援専門員がいない新規の方、担当の交代があった方の基本情報をやり取りする際に使用する、様式3(基本情報連携シート)としました。

## ～ 研修会のお知らせ ～

※申し込み・お問い合わせは下記事務局まで

### ○「医療・介護・福祉ネットワーク勉強会」(第1回在宅医療・介護・福祉連携推進研修会)

日時：平成27年4月7日(火)午後7時～午後8時30分

場所：始良地区医師会館 ホール

講演：「ゆけむり医療ネットの現状と未来」

講師：別府市医師会 事務次長兼地域保健センター  
管理者 田能村祐一 氏

皆さんお誘い合  
わせの上、多数で  
参加ください♪



住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、医療・介護・福祉の提供に関連する多くの機関が手をとり合って地域住民主体の暮らしを支えていけるようご協力をお願い致します。

【在宅医療推進連絡協議会事務局】

公益社団法人始良地区医師会事務局内

〒899-5106 鹿児島県霧島市隼人町内山田1-6-62

TEL : 0995-42-7161 FAX : 0995-43-2044